

# DX実現に不可欠なデータ利活用 その企画・検討を支援するサービスのご紹介

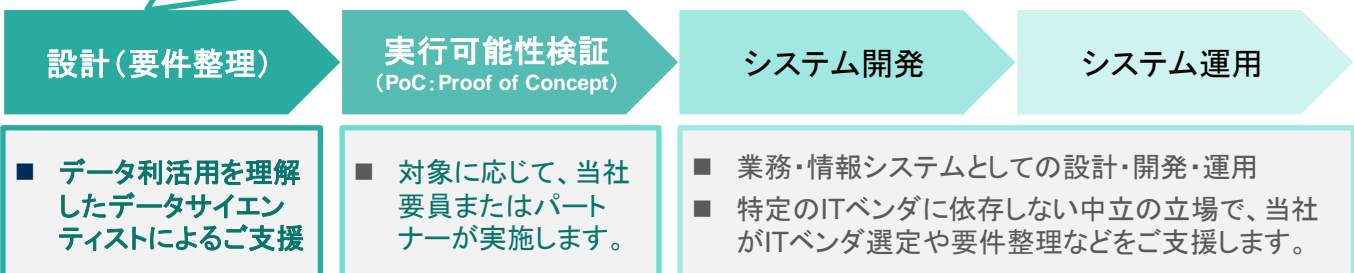
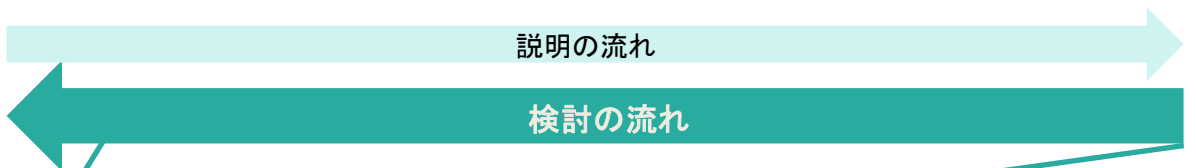
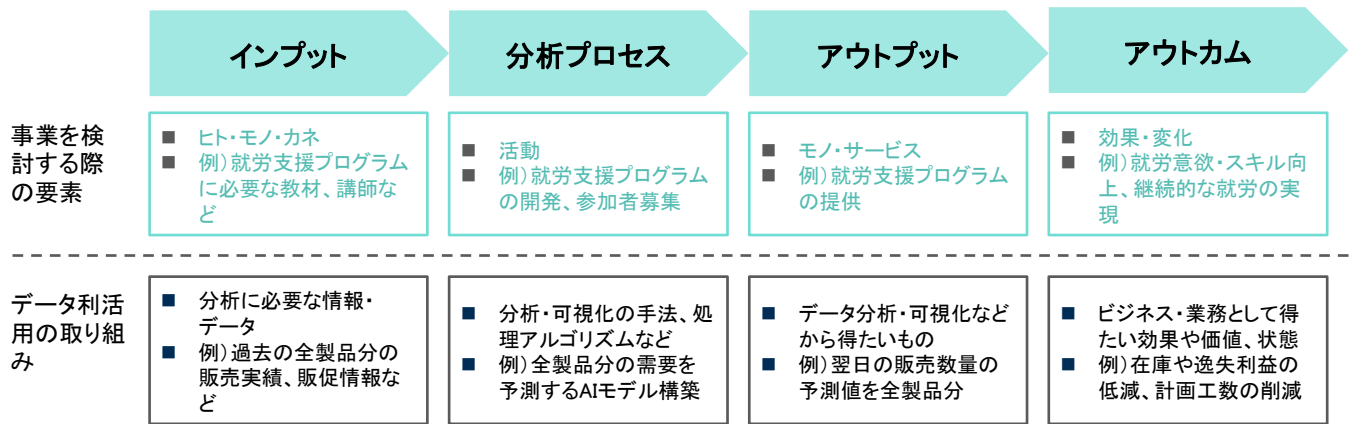
データ収集・蓄積やツール・基盤の導入そのものを目的化させない、  
貴社の業務やビジネスの改善・改革を狙った取り組みを設計しましょう！

DX(Digital Transformation)の実現において、データの利活用は重要な課題であるものの、成功に至っていると自認する企業はいまだ少数のままです。

ご参考: [総務省「デジタル・トランスフォーメーションによる経済へのインパクトに関する調査研究の請負 報告書」\(2021年3月\)](#)

今あるデータやツールからではなく、課題やニーズを起点に検討していくことが要諦

- とにかくデータを集めて、または、ツールや基盤を導入して、何らか分析・可視化してみたものの、期待した効果は得られなかった、という結論を迎える取り組みが少なくありません。
- その原因はデータやツールを起点にした検討にあります。その方が説明は容易な時もありますが、「誰の、どんな問題を解決したいか」から始め、そのために得たいアウトプット、さらにはそれを得るためのツール・分析プロセスや情報・データを検討するのが、データ利活用を設計する定跡です。



データ利活用による業務改善・改革のステップを当社がトータルでご支援いたします。

データ利活用の企画・検討を支援するコンサルティングサービスの提供イメージ

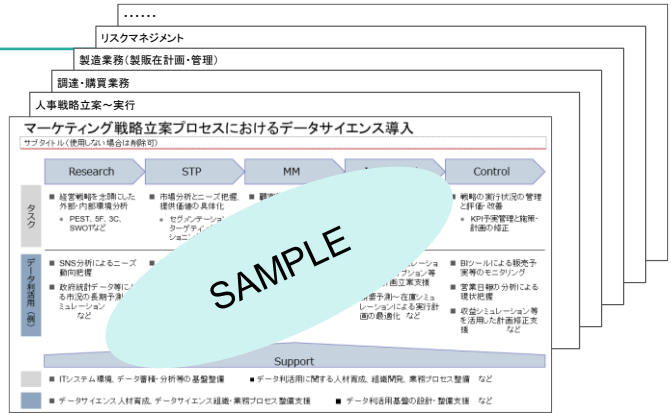
検討に用いるフレームワーク

- ①業務やビジネスにおける課題のリストアップ、②課題が解決された状態の定義、③データ利活用によって解決するシナリオの具体化、④そのシナリオの優先度評価の順に、検討を進めていきます。
- 対象業務のスコープによって、ワークショップなどの形式を含めつつ、標準的には2カ月程度で実施します。

No.	課題 タイトル (一言)	課題概 要(説明文)	課題 カテゴリ (業種・業 態)	改善・ 課題	解決 すべき 問題 (必要な データ)	シナリオ 種別 (目的)	実施 可能性	難易度	他の 評価観点 (アビ ル効果、 部門間 連携等)	総合評価 (着手の 優先順位 づけ)
SAMPLE										
1										
2										
3	← Step1 →			← Step2 →			← Step3 →	← Step4 →		
4										
5										

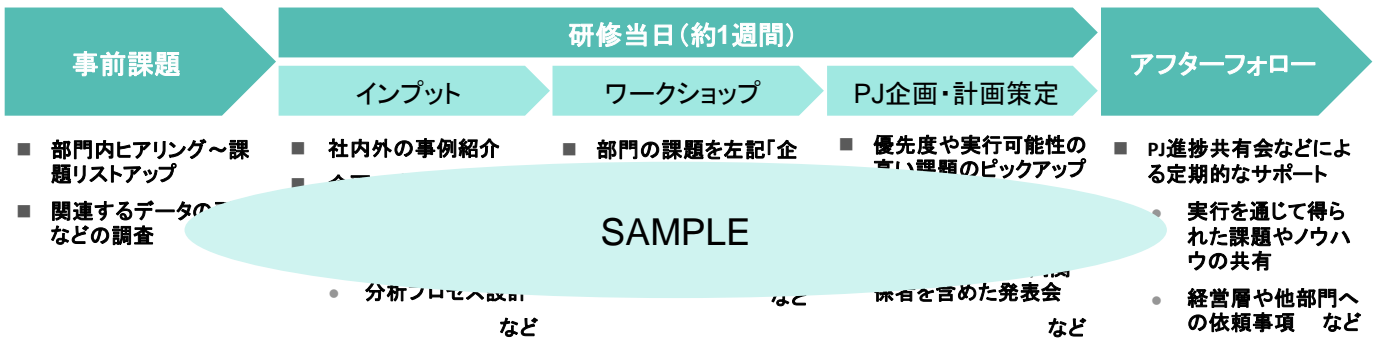
データ利活用に関する知見

- 社内外の業務改善・改革を支援してきた実績を基に、どのような課題には、どのようなデータ利活用が有用か整理・体系化(下図)
- マーケティングや人事、調達・購買、SCM、リスクマネジメントなどの分野を中心にデータ利活用の検討を支援する際のレファレンスがあります。



企画人材の育成に向けて

- データ利活用の企画・設計を社内でも実行できるよう、人材育成を併せて要望されることもあります。
- データ利活用に関する知識や経験など、現状の人材やスキルレベルに応じて実施形態などは変わりますが、企画・設計を研修の形式で提供し、顧客が自ら実践した実績もあります(下図:例)。



お問い合わせから企画提案までお気軽にお問い合わせください

お問い合わせはこちら

※上記ボタンをクリックすると、当社問い合わせフォームに遷移します。紙でご覧の方はQRコードをお使いください

